

71 朴一圭

GK IlGyu PARK



強固な砂岩となり

ダービーの勝利を目指す!

長いシーズンの中で勝ったり負けたりすることはある。そんな中で、勝たなければならない試合がある。それが、福岡とのダービーだ。長年、しのぎを削ってきたサガン鳥栖とアビスパ福岡にこの試合は大きな意味を持つ。

現在、鳥栖は9戦未勝利。対する福岡は前節・磐田戦を引き分けて、連敗は止めたが10戦未勝利となっている。互いに苦しいチーム状況に変わりはない。だが、そんなことを超越するのがダービー。ともに不信から脱出する糸口を見つけるための熱い戦いになることは必至。

鳥栖のゴールを守り続ける絶対的守護神の朴一圭はダービーを前に「僕以上にファン・サポーターが是が非で

も勝ってほしいと思っている試合。あまり意識し過ぎずに臨みたいが、ファン・サポーターの熱がそうさせてくれない」と話す。そして、こう続ける。「こういう状況でもファン・サポーターが期待を持って、背中を押してくれることに感謝の気持ちがある。それをしっかりとピッチで表現したい。ダービーは、勝ちたい気持ちの強い方が勝つ。目の前の相手に絶対に負けない、敵を薙ぎ倒してゴールを取る、ゴールを守るという、強い気持ちが最後は勝敗を分ける。ファン・サポーターの気持ちを背負い、体が粉々になるのが勝つことだけがすべて。それだけを目指して、全身全霊で戦います」と意気込みを示した。

ダービーはチームの戦いだ、選手たちはサポーターやクラブスタッフなどチームに関わるすべての人の思いを背負って戦う。だから、すべての人が気持ちをひとつにして力を合わせ、全力で勝利のためにできることを行動で示すことが必要だ。声を出しての応援でも、手を叩くだけでも、ただ願うだけでもいい。すべての人の力を集結させ、強固な砂岩となって、福岡から勝利をつかみ取る。ダービーでの1勝は、その後のチームに大きな影響を与えるに違いない。さあ、その想いを応援に変えて、ひとつになり、勝利をつかみ、勝どきをあげよう。

ダービーへの想い



サガン・リレーションズ・オフィサー

高橋 義希 Yoshiki TAKAHASHI

ダービーは、クラブの歴史や背景、サポーターの想いを知ると重みが変わります。サポーターの方々からダービーの重要性を伺っていましたが、僕も1年目の初めてのダービーでその雰囲気を感じて重要な試合とより理解しました。

どの試合も思い出に残っていますが、まずは博多の森の初勝利。試合後は、優勝したような雰囲気でした。あの時のサポーターやクラブスタッフの笑顔は忘れません。他にもゴールした試合(2009年 第38節)、J1初ダービー(2016年 第1節)など。

今節のダービーで勝つ意義は大きいと思います。それぞれの選手がダービーの重要性を理解し、プレーや行動、声掛けなどで表現してほしいです。勝つために必要なのが気持ち。選手だけでなく、クラブやサポーターなど関わる人すべてがひとつの砂岩になって戦わないと勝てない。逆にそうなったら大きな強さになる。



サガン鳥栖U-12コーチ

高地 系治 Keiji TAKACHI

どの試合も大事ですが、ダービーは特別に気持ちの入り方も自然と変わっていました。クラブやサポーターにとっても大きな意味を持つ試合で、サポーターはダービーに懸けているし、試合前の雰囲気からもダービーへの想いが伝わってきた。

ダービーには良い思い出も悪い思い出もありますね。良いのは、初めて博多の森球技場(現ベスト電器スタジアム)で勝った試合(2007年第18節)。悪い方は、開幕戦に0-5で負けた試合。他の試合も覚えています。ダービーは勝っても負けても強い印象が残っています。今回はホームゲームなので、サガンに勝利をつかんでほしい。選手たちはしっかりと準備して臨むと思いますし、何かが伝わる試合をしてくれたら盛り上がる。ダービーでチームがまとまれば、流れは変わるので、結果を含めてつかんでほしい。

チケットの購入はコチラ



NEXT HOME GAME

VS FC 町田ゼルビア

2024明治安田J1リーグ 第35節
@駅前不動産スタジアム

11.3 [日・祝] 14:00 KICK OFF



©2009 ZELVIA CO., LTD.

NEXT AWAY GAME

VS FC 東京

2024明治安田J1リーグ 第33節
@味の素スタジアム

10.5 [土] 15:00 KICK OFF



©FC TOKYO